

EUの環境ホルモン規制と

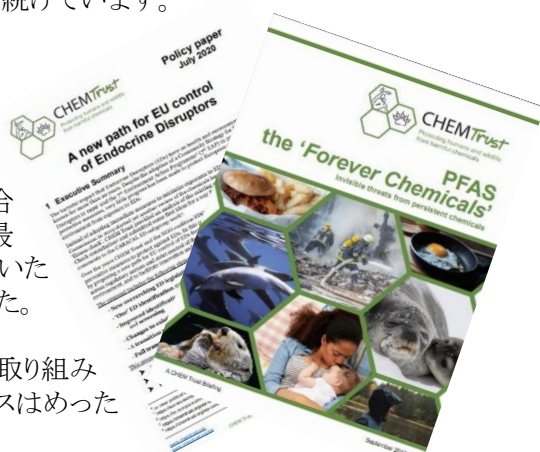
有機フッ素化合物対策の最新動向

胎児や子どもに深刻な影響を与える環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質 EDC)。またその一つで日本国内外で深刻な汚染を起こしている有機フッ素化合物(PFAS)。

EUでは世界に先駆けて規制が始まっていますが、それでも不十分だというNGOの批判も出ています。その尖峰でもあるCHEM Trust(化学物質、健康と環境監視トラスト)は「環境ホルモンのないヨーロッパ(EDC-Free Europa)」というネットワークを作り規制強化の提言を続けています。

今回CHEM Trustの専門スタッフお二人に、EUにおける環境ホルモンへの規制と、有機フッ素化合物汚染への対策の最新動向をお話していただけることになりました。

環境先進地域EUの取り組みを直に聞けるチャンスはめったにありません。ぜひご参加ください。



水の都ベネチアのあるイタリアベネト州では、2006年に河川、地下水、飲料水の深刻な有機フッ素化合物(PFAS)汚染が発覚。2017年の子どものモニタリング調査では、全国平均の40倍のPFASが血液から見つかり、母親たちは「NO PFAS マンマの会」を立ち上げました。

この国際市民セミナーは
地球環境基金の助成を受けて開催されます。

日時 2020年12月9日(水)
午後6時~8時(5時半開場)

会場 新型コロナ感染対策のため
youtubeからのライブ配信
逐次通訳付き

参加費 無料
参加ご希望の方は、
メール(kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)
でお申し込みください。youtubeのライブ配信URLをお知らせします。
セミナー後、資料ご希望の方には1000円でお分けします。

講師



ピア・ジュール・ニールセンさん

CHEM Trust 環境ホルモン問題顧問
長年、デンマークの環境保護庁で化学物質部副部長として勤務。デンマークの環境ホルモン戦略の作成、デンマーク環境ホルモンセンターの設立にも関与した。近年は、EUでの環境ホルモン判定基準の制定にも関与した。



ジュリー・シュネイダーさん

CHEM Trust 有機フッ素化合物問題担当
地球化学博士。フランスのニース・ソフィア・アンティポリス大学で8年間講師として働いた後、FoE(地球の友)を経て、2018年からCHEM Trustに勤務。

お問い合わせ お申込み

NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階
Tel.03-5875-5410 Fax.03-5875-5411
Homepage: www.kokumin-kaigi.org
Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp